

留学生の声エッセイ

現代政策学部 チェドンウ

私の日本留学生活

もう日本に来て5ヶ月という時間が過ぎました。楽しいことが多かったので、時間があっという間に過ぎた気がしました。私は幼い時から外国生活に憧れてきました。ついにその夢を叶えることができ本当に幸せで、一日一日が意味のある時間を過ごしています。

最初は日本の生活に困難もありました。

環境が変わって疲労度がすぐにたまるようになりました。そして私の日本語の実力に対する自信がない状態だったので日本語で対話することを怖がりました。しかしJISTでいろんなイベントやいい人たちに出会って勇気が出ました。その後は日本語で話すことに慣れて、もう怖くなくなりました。

現代の政策学部で授業を受けています。

ある授業は内容が少し難しくて問題が生じる場合もありますが、親切な先生たちのおかげで克服することができました。文章を読んでその文章の隠された意味を探す授業や日本人の先生と学生たちが自然に対話しながら日本語に慣れる様々な授業を経験しました。



友達とカエル神社に訪問しました。

有名で大きな神社と違って、かわいいカエルの銅像が喜んで迎えてくれました。友達と一緒にならどこへ行っても楽しかったです。

友達とカエル神社で

韓国大学の教授はいつも学生たちに休みには海外旅行に行つてその国の文化を直接体験して楽しみながら自分の視野を育てるよつと言っていました。当時は理解できなかったが直接日本へ来て日本の文化を直接体験してみたらその時教授の話が理解できました。その国の文化を理解して尊重しながら受け入れてもっと大きい人になれという意味だと私は思います。



渋谷

5ヶ月だけでこんなに面白くて記憶に残る思い出が多いです。これから残りの半年の間も悔いのない時間を過ごしたいです。またどんな面白いことや思い出ができるか楽しみです。韓国に帰って大学を卒業して社会人になっても日本での留学生活は絶対に忘れられません。

今まで私のエッセイを読んでくださってありがとうございます。



初めて日本に来た時